

The English version is available after the Japanese version. Please scroll to the bottom.

母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会

2023 年度研究大会オンライン開催のご案内及び発表募集のお知らせ

2023 年 5 月 5 日

母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会は、国内外の複数言語環境にある幼児・児童・生徒・およびその他の学習者がマルチリンガル能力を身につけられる言語教育の方法、理論、研究方法をさぐることを目的として、多様な領域の研究者・教育実践者が交流し、情報交換や発信などの活動をおこなっています。

2023 年度の研究大会は「公正な言語教育を求めてーバイリンガルろう教育を再考する」をテーマにかかげ、8 月 3 日～6 日にオンラインで開催します。

MHB の研究領域である海外継承日本語、ろう・難聴児、国内 CLD 児、少数言語を含む各種言語教育の場において、学習者に対する情報保障や言語権、教育を受ける権利は必ずしも保障されてはいません。なぜなら、すべての学習者に機会を「平等 Equality」に提供したとしても、それは結果の平等「公正 Equity」を保障するものではないからです。今年度の MHB 大会は「公正な言語教育」をテーマに、ろう教育におけるバイリンガリズムについて皆様と一緒に考えていきたいと願っています。

大会テーマの基調講演には、ろう児の教育がご専門の Ruth Swanwick 博士（リーズ大学）、Daniel Fobi 博士、Richard Doku 氏の三人をお迎えし、「バイ／マルチリンガル小児期ろう教育：コンテクストを超えた対話 Bi/Multilingual early childhood deaf education: cross-context conversation」をテーマにご講演いただきます。また、森壮也氏（アジア経済研究所）による「ろう者のセルフ・アドボカシー：手話にまつわる人生の諸戦略」と題した特別講演も企画しています。この特別講演は一般に広く公開（大会参加費不要）します。その他にもパネル、2つのワークショップ、会員による研究発表、特別ラウンドテーブルを予定しています。詳細は、大会概要をご覧ください。

MHB は世界の各地に会員を有しているので、できるだけ多くの方に参加していただけるよう工夫をする予定です。また、情報保障についてもできる限りの努力をします。一般参加の申し込み方法は、後日ご案内します。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

MHB 学会 2023 年度大会実行委員会  
taikai@mhb.jp

## 【大会概要】

開催期間：2023年8月3日（木）～8月6日（日）

開催形態：完全オンライン開催

テーマ：公正な言語教育を求めてーバイリンガルろう教育を再考する

## 【プログラム】

8月3日（木）

15:00-18:00 ワークショップⅠ [録画事前共有、日本語字幕]

講師：柴山 真琴 氏（大妻女子大学）

内容：「エスノグラフィー入門：日常の言語実践の研究法として」

8月4日（金）

16:00-18:30 基調講演

[録画事前共有（日本語字幕付き）＋ライブセッション（日本語への同時通訳、日本手話付き）]

登壇者：Ruth Swanwick 博士（リーズ大学）、Daniel Fobi 博士、Richard Doku 氏

タイトル：「バイ／マルチリンガル小児期ろう教育：コンテキストを超えた対

話 Bi/Multilingual early childhood deaf education: cross-context conversation」

8月5日（土）

8:30-10:30 パネルセッション [日本手話通訳]

テーマ：「言語とアイデンティティ」

登壇者：

(1) 北原 モコットウナシ 氏（北海道大学）

(2) 富田 望 氏（フレミングハム州立大学）

(3) オーリ・リチャ 氏（千葉大学）

10:30 学会より紀要特別号発刊のお知らせ

11:00 総会 [日本手話通訳]

13:00-14:30 特別講演

登壇者：森 壮也 氏（アジア経済研究所）

タイトル：「ろう者のセルフ・アドボカシー：手話にまつわる人生の諸戦略」

15:00-17:00 会員による研究発表

16:00-17:00 特別ラウンドテーブル「ろうの若者、ろう教育を語る」 [日本手話通訳あり]

8月6日(日)

13:00-15:30 会員による研究発表 [1部屋に日本手話通訳あり]

16:00-18:00 ワークショップⅡ

講師：加納 なおみ 氏 (國學院大学)

内容：「複数言語生活を生かした言語教授法—リテラシーを育むための実践講座—」

### 【参加申し込み方法】

参加申し込みには Wix を利用しています。大会の参加登録に合わせて Wix のユーザー登録が必要です。参加申し込みは大会特設サイトからおこなっていただきますが、詳細は後日、連絡します。

※MHB 学会員でない方のご参加も歓迎しますが、MHB2023 本大会に正会員（一般会員・学生会員）価格での参加を希望される方は、先に 2023 年度の MHB 学会年会費の支払いをお済ませください。新たに入会を希望される方は「入会案内」<https://mhb.jp/admission> からお申し込みください。MiiT+というクラウドサービスにまず登録していただき、その後そこでクレジットカードにて年会費の支払いをすることができます。

※現在、準会員の方で、一般会員に資格を変更されたい方も MiiT+から同様に会費納入をしてください。

※MHB 学会員の年会費と大会参加費は支払い方法が異なりますので、ご注意ください。 ※オンラインでの大会実施が順調におこなえるよう、大会実行委員側はできうる努力をいたします。しかし、ネット接続の不具合等によるトラブルがないことを保証するものではないことをご了承ください。

※ 定員に達ししだい、締めきらせていただきます。

### 【参加申し込みと金額】

- ・参加申し込み期間：7月ごろになる予定です。
- ・すべて事前登録が必要で、当日参加はできません。
- ・料金は次のとおりです。ただし【特別講演】は無料で、大会参加申し込みは不要です。
- ・ワークショップは追加料金不要です。

大会参加費 正会員（一般会員・学生会員）3000 円  
準会員・非会員 4,000 円

※ MHB 学会発行の領収書および参加証明書が必要な方は、MHB 学会 2023 年度大会実行委員までお問い合わせください。

※ お支払いの取り消しは、理由の如何に関わらず一切お受け致しかねますので、ご了承ください。

## 【研究発表応募要領】

### 1. 募集内容

・ MHB 学会の研究領域に関連するもので、未発表のもの。今年度の研究テーマに限るものではありません。

※MHB 学会の目的や対象領域は学会会則 <https://mhb.jp/kaisoku> を参照のこと。

### 2. 発表言語

・ 日本語、英語、日本手話（ただし、例示のため、他言語の単語などを含めることは可能）

### 3. 締切

・ 2023 年 5 月 31 日（水）23:00（東京時間: UTC+9）必着

・ 応募は本学会員（一般会員と学生会員）に限ります（※2023 年度年会費納付済みのこと）。筆頭発表者だけでなく共同発表者も全員学会員である必要があります。学会員登録の方法や年会費納付先については <https://mhb.jp/admission> の説明をご参照ください。

・ 筆頭発表者だけでなく、共同発表者の方も全員大会への参加申し込みをしてください。

・ 1 人の学会員が 2 件以上の発表で筆頭発表者となることはできません。

・ 口頭発表の時間帯を選ぶことはできません。

### 4. 発表カテゴリー

(1) 口頭発表（研究発表・実践報告）

(2) ショートプレゼンテーション（研究発表・実践報告・デモンストレーション）

## 5. 発表形式と時間

### (1) 形式

■口頭発表：まとまった研究や実践報告についてまとまった内容の情報の提供が中心です。はじめの18分は、発表者がZOOM meetingを使用し参加者にむけて一方向に発表します。その後10分間の質疑応答があります。

■ショートプレゼンテーション：萌芽的研究や実践報告あるいは教材等について、やり取りの中で議論を深めることを目的としています（データ収集以前の企画段階での発表はご遠慮ください）。はじめの8分程度で、発表者がZOOM meetingを使用し参加者にむけて一方向で発表した後、20分間の意見交換を行います。

### (2) 持ち時間

口頭発表：発表18分+質疑応答10分、計28分

ショートプレゼンテーション：発表8分+質疑応答20分、計28分

## 6. 応募の手続き

・次の3件の文書をダウンロードしてください（インターネットに接続した状態でクリックをすると当該の文書にアクセスできます）。

(1) [2023MHB\\_AppForm](#)

(2) [2023MHB\\_guide](#)

(3) [2023MHB\\_template](#)

・(1)に必要事項を記入し、(2)の指示に従い、(3)を使用して応募原稿を作成し、(1)(3)を指定された方法で送付してください。

## 7. 採否判定の観点

■口頭発表：

(1) テーマがMHB学会にふさわしいか。

(2) 研究・実践課題が母語・継承語・バイリンガル教育の実践と研究に貢献するか。

(3) 研究発表の場合には、研究動機、先行研究のまとめと研究の位置づけが、実践報告の場合には、その実践の意義が、それぞれ研究課題、研究方法とともに明記されていて、結果と考察が含まれているか。

(4) 先行研究等と比較して、発表内容に特色、独創性、意義が認められるか。

■ショートプレゼンテーション：

(1) テーマが MHB 学会にふさわしいか。

(2) これまでの研究・実践・教材等と比較して、研究内容に特色、独創性、意義が認められるか。

8. 採否連絡

・採否の結果は、6月19日（月）までにメールにて通知致します。

お問い合わせ：MHB 学会 2023 年度大会実行委員 [taikai@mhb.jp](mailto:taikai@mhb.jp)

\*\*\*\*\*

The 2023 ONLINE Conference of the Japanese Society For Mother Tongue, Heritage Language, and Bilingual Education (MHB) August 3-6, 2023

\*\*\*\*\*

May 5, 2023

The purpose of the Japanese Society for Mother Tongue, Heritage Language, and Bilingual Education (MHB) is to explore language education methods, theories, and research methods related to how infants, children, students, and other learners in multilingual environments in Japan and abroad acquire multilingual skills.

The 2023 conference will be held under the theme "In Search of Equity in Language Education: Reconsidering Bilingual Deaf Education" and will be held online from August 3 to 6, 2023.

In MHB's research areas of language education, including teaching Japanese as a heritage language overseas, Deaf and hard-of-hearing children, CLD children in Japan, and minority languages, securing information accessibility, language rights, and the right to education for learners are not always guaranteed. This is because providing "Equality" of opportunity for all learners does not guarantee "Equity" of results. This year's MHB conference will focus on the theme of "Equity in Language Education". We hope you will join us in discussing bilingualism in Deaf Education.

Professor Ruth Swanwick (University of Leeds), Dr. Daniel Fobi, and Mr. Richard Doku, all specialists in deaf education, will deliver the keynote address on the theme, "Bi-Multilingual early childhood deaf education: cross-context conversation."

In addition, Dr. Soya Mori (Institute of Developing Economics) will give a special lecture titled "A Deaf person's self-advocacy: Life strategies related to Sign Language." This special lecture will be open to those who have not registered to attend the conference.

Other sessions will include the panel, two workshops, research presentations by MHB members, and a special roundtable. For more information, please see the conference outline.

Since MHB has members in many parts of the world, we will try to make it possible for as many people as possible to participate. We will also do our best to guarantee information for all participants. We will announce how to register for general participation at a later date. We look forward to your active participation.

The 2023 MHB Conference Organizing Committee

taikai@mhb.jp

**【Outline of the Conference】**

Date: Thursday, August 3, 2023 - Sunday, August 6, 2023, Online

Theme: In Search of Equity in Language Education: Reconsidering Bilingual Deaf Education

**【Program】**

Thursday, August 3

15:00-18:00 Workshop I [pre-shared recording with Japanese subtitles +live discussions]

Title: Introduction to ethnography: As a research method of everyday language practices

Lecturer: Dr. Makoto Shibayama (Otsuma Women's University)

Friday, August 4

16:00-18:30 Keynote Speech [pre-shared recording with Japanese subtitles + live session with simultaneous translation into Japanese and Japanese Sign Language

Professor Ruth Swanwick (University of Leeds), Dr. Daniel Fobi, and Mr. Richard Doku, all specialists in deaf education, will deliver the keynote address on the theme, "Bi-Multilingual early childhood deaf education: cross-context conversation."

Saturday, August 5

9:30-12:00 Panel Session [with Japanese Sign Language Interpreting]

Theme: "Language and Identity"

Speakers :

(1) Dr. Mokotuna Kitahara (Hokkaido University)

(2) Ms. Nozomu Tomita ( Framingham State University)

(3) Dr. Ohri Richa (Chiba University)

10:30 Announcement of the publication of a special issue of the Research Journal from the Society

11:00 General Meeting [with Japanese Sign Language Interpreting]

13:00 Special Lecture [with Japanese Sign Language Interpreting]

Speaker: Dr. Soya Mori (Institute of Developing Economies)

Title: "Self-Advocacy of the Deaf: Life Strategies related to Sign Language

15:00-17:00 Research presentations by members [with Japanese Sign Language Interpreting in one room]

16:00-17:00 Special Roundtable "Deaf youth discuss Deaf education" [with Japanese Sign Language Interpreting]

August 6 (Sunday)

13:00-15:30 Research presentations by members [with Japanese Sign Language Interpreting in one room]

16:00-18:00



## Workshop II

Lecturer: Dr. Naomi Kano (Kokugakuin University)

Title: "Language Teaching Methods Utilizing Multiple Languages - A Practical Session for Developing Literacy

**【How to register】** Wix is used for conference registration. Wix user registration is required in conjunction with conference registration. Registration will be made via the conference site, and details will be provided later.

※ Non-members of the MHB are also welcome to attend the conference, but those who wish to participate in the MHB2023 conference at the general (student) member price must first pay the MHB annual membership fee for the year 2023. If you wish to become a new member, please apply for membership at "Membership Information" <https://mhb.jp/admission> You can register for the cloud service called MiiT+ first, then pay the annual membership fee by credit card there.

※ If you are currently an associate member and wish to change your membership status to a general member, please do the same through MiiT+. Please note that the payment methods for the annual membership fee and conference registration fee are different for MHB members.

※ The MHB Conference Organizing Committee will make every effort to provide the best possible environment for the online conference. However, please note that we cannot guarantee that there will be no problems due to issues such as poor internet connection.

※ Applications to the conference will close when the number of participants reaches the maximum capacity.

### **【Registration and Participation Fee】**

- Period: Sometime in July
- Pre-registration is required for all events, and no on-site registration is permitted.
- The fees are as follows. The "Special Lecture" is free of charge and does not require conference registration.

### MHB2023 Conference Registration Fee

General members and student members: 3,000 yen

Associate members and non-members: 4,000 yen

If you need a receipt and certificate of participation issued by the MHB Society, please contact the MHB Society 2023 Conference Organizing Committee.

Please note that we will not accept any payment cancellation for any reason.

## 【Application Guidelines for Research Presentations】

### 1. Details of the application

Research related to the research areas of the MHB Society that have not yet been published.

For the objectives and subject areas of the MHB Society, please refer to the Society's Constitution at <https://mhb.jp/kaisoku>.

### 2. Language of presentation

Japanese, English, and Japanese Sign Language (however, words in other languages may be included for illustrative purposes).

### 3. Deadline

Deadline: May 31, 2023 (Wed.) 23:00 (Tokyo time: UTC+9)

Applications are open only to members of the University (general members and student members) (\*Yearly membership fee for 2023 must be paid). All co-presenters and the first presenter must be members of the society. Please refer to <https://mhb.jp/admission> for information on how to register as a member of the society and where to pay the annual membership fee.

All co-presenters as well as the first presenter must register for the conference.

One person cannot be the first presenter for more than one presentation.

The time slots for oral presentations cannot be selected.

### 4. Presentation categories

(1) Oral presentation (research presentation/practical report)

(2) Short presentation (research presentation, practical report, demonstration)

### 5. Presentation format and time

#### (1) Format

Oral presentation: The main focus is on providing information on a coherent body of research and practice reports. For the first 18 minutes, the presenter will give a one-way presentation to the participants using the ZOOM meeting, and this will be followed by 10 minutes of Q&A.

Short presentation: The purpose of short presentations is to deepen the discussion on emerging research, practice reports, teaching materials, etc. in an exchange of ideas. (Please refrain from presenting at the planning stage before data collection.) The first 8 minutes of the presentation will be given by the presenter using a ZOOM meeting in one direction to the participants, followed by a 20-minute exchange

of opinions.

(2) Presentation time

Oral presentation: 18 minutes for presentation + 10 minutes for Q&A, total 28 minutes

Short presentation: 8 minutes for presentation + 20 minutes for Q&A, total 28 minutes

6. Application Procedures

Please download the following three documents (click to access the documents when you are connected to the Internet).

(1) [2023MHB\\_AppForm](#)

(2) [2023MHB\\_guide](#)

(3) [2023MHB\\_template](#)

Please fill in (1), follow the instructions in (2), prepare your application manuscript using (3), and send (1) and (3) by the specified method. 9.

7. Acceptance/rejection criteria

Oral presentation:

(1) Whether the theme is appropriate for the MHB conference

(2) Whether the research/practical theme contributes to the advancement of practice and research in mother tongue, heritage language, and bilingual education.

(3) If it is a research presentation, whether it clearly states the motivation for the research, a review of previous research, and the position of the research, and if it is a report of practice, whether it clearly states the significance of the practice, together with the research theme and methods, the results and discussion.

(4) Whether the presentation's content is recognized as unique, original, and significant compared with previous research.

Short presentation

(1) Whether the theme is appropriate for the MHB conference

(2) Whether the contents of the presentation are unique, original, and significant in comparison with previous studies, practices, and teaching materials

8. Notification of acceptance or rejection

The notification of acceptance will be notified by e-mail by Monday, June 19, 2023.

Contact: The 2023 MHB Conference Organizing Committee [taikai@mhb.jp](mailto:taikai@mhb.jp)